

【『映画で学ぶ《教育学》』掲載作品一覧】(創刊号～最終号)

創刊号	子どもの権利思想の源流 『ヤヌシュ・コルチャック～すべてを子どものために～』(2001年)	荒川麻里
ルドルフ・シュタイナーの青年觀から読む 『白バラの祈り』(2005年)	相賀由美子	
教師の役割～可能性と限界を問う～ 『パリ20区、僕たちのクラス』(2008年)	大森泉季	少年期における「自分らしさ」の芽生え 『おおかみこどもの雨と雪』(2012年)
文化を理解すること—教師の働き— 『フラガール』(2006年)	小野淳美	牧瀬翔麻 「人間」であることを休憩する 『かえるくんとマックス』(2009年)
学校の勉強で得られるもの 『いまを生きる』(1989年)	山崎美穂	後藤みな 保護者による教育を信頼しよう 『I am Sam アイ・アム・サム』(2001年)
学習指導の一形態? 『ファンシダンス』(1989年)	村松遼太	松原悠 学校と軍隊 『決戦の大空へ』(1943年)
心の教育 『三十四丁目の奇蹟』(1947年)	寝占真翔	白岩伸也 意味を考えることの大切さ 『ペイ・フォワード』(2000年)
家庭教育の力 『マイ・ドッグ・スキップ』(1999年)	韓雪	木下祥一 学ぶって何だろう? 『誰も知らない』(2004年)
平等に教育を受ける権利を守る 『さよなら子供たち』(1987年)	宮玉婷	敖愛琳 自分の人生は自分で決める 『グッド・ウィル・ハンティング 旅立ち』(1997年)
糸が創り出す教育空間～社会教育の力～ 『鶏排英雄』(2011年)	曹蓓蓓	周也 大切なものである友達 『サイモン・バーチ』(1998年)
生涯学習と高齢者教育 『マルタのやさしい刺繡』(2006年)	陳菁浩	盧中潔 好奇心から夢への教育とは 『ニュー・シネマ・パラダイス』(1989年)
教育と教師についての再考 『あの子を探して』(1999年)	張揚	田邊良祐 教育における「平等」を考える 『最強のふたり』(2011年)
教師と子どもの信頼関係づくり 『英国王のスピーチ』(2011年)	田邊良祐	坂口真康 対立する人々を団結へと導くスポーツの 不思議な力 『インピクタス／負けざる者たち』(2009年)
学校給食と食育 『未来の食卓』(2008年)	黄海玉	黄海玉 人を支える教育行財政へ 『コントロール』(2004年)
子どもを教育するという行為の重さ 『剣岳:点の記』(2009年)	澤田裕之	澤田裕之 知識を得ると生きることが楽しくなる 『幸せの教室』(2011年)
看護と教育の接点 『がん看護専門看護師 田村恵子の仕事』(2009年)	福野裕美	福野裕美 子どもの主体性を重視する保育 『チャーリーと14人のキッズ』(2003年)
学校教育と家庭教育との差異 『ツッパリ生徒と泣き虫先生』(2001年)	荒川麻里	荒川麻里 天命を反転する教育:枠組みの再構築へ 『死なない子供、荒川修作』(2010年)
第2号	最終号	
「日本」という国の多様性を映したす鏡 『우리학교(ウリハッキョ)』(2006年)	國分麻里	奇楽木格 一人ひとりの子どもに寄り添う教育を目指して 『Taare Zameen Par』(2007年)
考える力を育てる教育 『小さな哲学者たち』(2010年)	田中マリア	小山田建太 学ぶ存在としての「子ども像」 『学校II』(1996年)
親の教育の自由と学校・教師の役割 『パパイ、ママ』(2004年)	大西圭介	田中怜 教育(指し示し)にできることできないこと 『ピノキオ』(1940年)
子どもの興味を引き出し、思考力を育む 『ピタゴラ装置 DVD ブック2』(2007年)	平林真伊	村井輝久 美との出会いにおける理性と感性の調和 『ベニスに死す』(1971年)
幸福になるための生涯学習 『学校』(1993年)	于森	村田翔吾 創造的な算数教育を目指して 『穴』(2003年)
生き抜く力とは何か 『学校III』(1998年)	吳旻	嶋村安祐美 自分自身を受け入れること 『フィービー・イン・ワンダーランド』(2008年)
親子の信頼関係を築くには 『となりのトトロ』(1988年)	洪溟	高谷昌樹 教育環境を求める子どもたち 『クレヨン shinちゃん モーレツ! オトナ帝国の逆襲』(2001年)
子どもの個性に応じた教育実践 『コーラス』(2004年)	孫春蕾	坂口真康 闘い抜くために歌われた歌 —音楽を通じた人の繋がり 『AMANDLA アマンドラ! 希望の歌』(2002年)
平和への道を問う・共に生きる 『パラダイス・ナウ』(2005年)	鄭曉文	澤田裕之 校則と子どもの狭間に生きる教師 『コッホ先生と僕らの革命』(2011年)
人と人がつながるということ 『アメリカン・ヒストリー X』(1998年)	坂口真康	福野裕美 専門職としての教師 『院内学級教師 副島賢和の仕事 ～涙も笑いも、力になる～』(2011年)
教師の教育の自由と責任 『ウェイヴ』(2008年)	黄海玉	荒川麻里 親子関係への支援と介入 『レディバード・レディバード』(1995年)
移民のこどもと学校教育 『ワインキーの白い馬』(2005年)	澤田裕之	
食育の必要性 『ジェイミー・オリヴァーのスクール・ディナーVol.1』(2005年)	福野裕美	

計 56 作品